

岡山県感染症週報

2014 年 第 37 週 (9 月 8 日～9 月 14 日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症 警報』発令中です。

9 月 24 日～30 日は『結核予防週間』です。

◆2014 年 第 37 週 (9/8～9/14) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第 35 週 5 類感染症 後天性免疫不全症候群 1 名 (50 代 男)
 第 36 週 2 類感染症 結核 2 名 (50 代 女 1 名、90 代 男 1 名)
 5 類感染症 梅毒 1 名 (30 代 男)
 第 37 週 2 類感染症 結核 4 名 (50 代 女 1 名、70 代 男 1 名、80 代 男 2 名)
 5 類感染症 後天性免疫不全症候群 1 名 (20 代 男)

■定点把握感染症発生状況

- RS ウイルス感染症は、県全体で 26 名 (定点あたり 0.09 → 0.48 人) の報告があり、前週より増加しました。
 ○咽頭結膜熱は、県全体で 31 名 (定点あたり 0.30 → 0.57 人) の報告があり、前週より増加しました。
 ○ヘルパンギーナは、県全体で 39 名 (定点あたり 0.83 → 0.72 人) の報告があり、前週よりわずかに減少しました。

- RS ウイルス感染症は、県全体で 26 名 (定点あたり 0.09 → 0.48 人) の報告があり、前週より増加しました。地域別では、美作地域 (2.50 人) で急増しており、倉敷市 (0.45 人)、岡山市 (0.36 人) でわずかに増加しています。全国の第 36 週の発生状況をみると、第 35 週から西日本を中心に報告数が急激に増加しており、近県では山口県 (1.79 人)、広島県 (1.58 人) で多くなっています。この感染症は、大人は軽い風邪のような症状で軽快しますが、乳幼児が感染すると重症化する恐れがあります。秋から冬にかけて多くの患者が報告されるため、これからの発生状況に注意してください。また、手洗いやうがいを行うなど感染予防に努めましょう。
- 咽頭結膜熱は、県全体で 31 名 (定点あたり 0.30 → 0.57 人) の報告があり、前週より増加しました。美作地域 (1.50 → 2.83 人)、備中地域 (0.57 → 1.00 人) では、2 週連続で増加しています。外から帰った後は手洗いやうがいを行うなど、感染予防に努めましょう。
- ヘルパンギーナは、県全体で 39 名 (定点あたり 0.83 → 0.72 人) の報告があり、前週よりわずかに減少しました。この感染症は、小児の急性ウイルス性咽頭炎であり、いわゆる夏かぜの代表的なもので、例年初夏から初秋にかけて発生します。ひきつづき手洗いやうがいを行うなど、感染予防に努めましょう。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓	★	RSウイルス感染症	↑	★
咽頭結膜熱	↑	★★★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★
感染性胃腸炎	↑	★★	水痘	↑	★
手足口病	↑	★	伝染性紅斑	↑	
突発性発疹	↑	★★	百日咳	↑	
ヘルパンギーナ	↑	★	流行性耳下腺炎	↑	★
急性出血性結膜炎	↑		流行性角結膜炎	↓	★
細菌性髄膜炎	↑		無菌性髄膜炎	↑	
マイコプラズマ肺炎	↑		クラミジア肺炎	↑	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↑				

【記号の説明】 前週からの推移: ↓ : 2 倍以上の減少 ↓ : 1.1～2 倍未満の減少 → : 1.1 未満の増減

↑ : 1.1～2 倍未満の増加 ↑ : 2 倍以上の増加

発生状況: 空白: 発生なし ★: 僅か ★★: 少し ★★★: やや多い ★★★★: 多い ★★★★★: 非常に多い

今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、平成 25 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。

9 月 24 日～30 日は『結核予防週間』です。

～ 長引く咳は “ 風邪 ” … “ 結核 ” かも !? ～

日本において、結核は過去の病気ではなく、いまだ年間約 2 万人の患者が新たに報告されており、依然として重要な感染症です。日本では、結核を知り、正しい知識を深める期間として、9 月 24 日～30 日を「結核予防週間」としています。「結核予防週間」には、結核予防意識の一層の普及を図るため、街頭キャンペーンや各保健所・市町村での普及啓発活動などを行っています。

- ・ 咳が 2 週間以上続く。
- ・ 微熱が 2 週間以上続く。
- ・ 体がだるい。
- ・ 急に体重が減った。

➡ こんな症状が続いたら、結核かもしれません。

【結核とは】

結核菌による感染症です。主に、咳などの飛沫により感染します。多くの場合、肺結核として発症し、咳、痰、微熱が典型的な症状です。胸痛、呼吸困難、血痰、全身倦怠感、食欲不振などを伴うこともあります。初期には無症状のことも多くあります。肺以外の腎臓、骨、腸管など身体のあらゆる部分に病巣を作ることもあります。

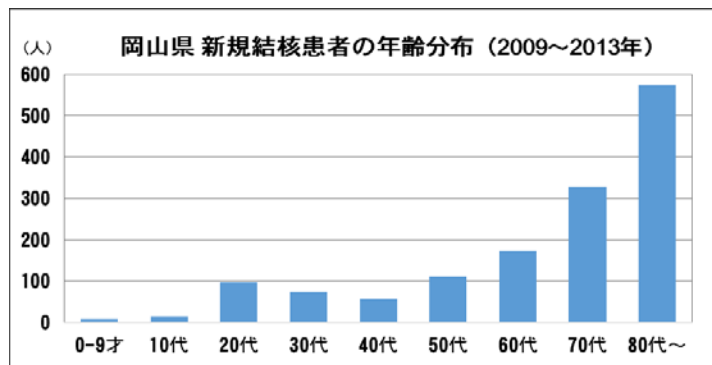
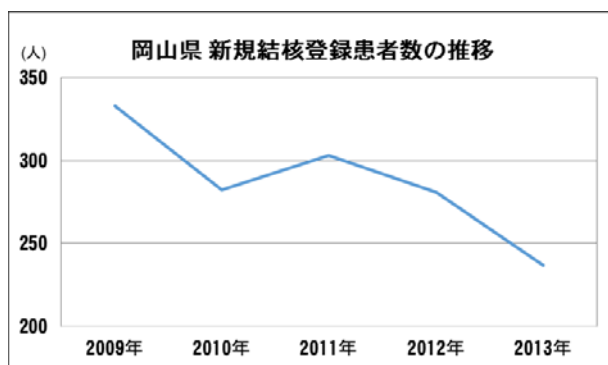
結核は、重症化した場合は、排菌量が増加するとともに、排菌する期間が長くなり、他の人にうつしてしまう可能性が非常に高くなります。咳が 2 週間以上続く等の症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。咳が出ている時には、マスクを着用する等、咳エチケットを心がけましょう。

【結核の予防接種や検診を受けましょう】

乳幼児は抵抗力が弱く、結核菌に感染すると重症化しやすいため、予防接種を行うことが重要です。小児では、結核の重症化を防ぐ BCG を接種することで、十～十数年は結核を予防することができますと言われています。生後 1 年未満の乳幼児であれば、無料で予防接種を行うことができます。

また、結核の早期発見のため、職場や地域の健康診断を積極的に活用し、1 年に 1 回は検診を受けましょう。

【岡山県の結核発生状況】



2014 年、岡山県では、第 37 週までに結核発生届（患者、無症状病原体保有者、疑似症患者）が 256 件報告されています。過去 5 年間（2009～2013 年）の新規結核患者の発生状況をみると、毎年 300 人前後の患者が報告されています。年代別では、70 歳以上の高齢者で多く報告されています。

【全国の結核発生状況】

厚生労働省の 2013 年度年報によると、国内で新たに登録された結核患者は 20,495 名でした。このうち、70 歳以上の患者が 57.4% を占めており、前年よりも増加しました。全国の人口 10 万人あたり罹患率は 16.1 で年々わずかに減少しています。罹患率については地域差がみられ、首都圏、中京、近畿地域などでの大都市で高い傾向がづいていきます。岡山県の罹患率は、12.0 と全国平均と比較して低値でした。

[平成 25 年結核登録者情報調査年報集計結果（厚生労働省）](#)

【医療機関の方へのお知らせ】

感染症法の施行規則の一部が改正になりました。（平成 26 年 9 月 9 日）

改正内容は、以下の 2 点です。

＊五類感染症（全数把握）に、**カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症** 及び **播種性クリプトコッカス症** を追加する。

＊五類感染症の **水痘**（患者が入院を要すると認められるものに限る）及び **薬剤耐性アシネトバクター感染症** について、全数把握対象疾患とする。

この改正については、平成 26 年 9 月 19 日から施行されます。

- ・ [感染症発生動向調査事業実施要綱 新旧対照表](#)
- ・ [届出基準及び届出様式 新旧対照表](#)

- [感染症発生動向調査事業実施要綱（9 月 19 日施行）](#)
- [届出基準（9 月 19 日施行）](#)
- [届出様式（全数把握）（9 月 19 日施行）](#)
- [届出様式（定点把握）（9 月 19 日施行）](#)

保健所別報告患者数 2014年 37週 (2014/09/08～2014/09/14)

2014年9月18日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1	0.01	—	—	—	—	1	0.07	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	26	0.48	5	0.36	5	0.45	—	—	1	0.14	—	—	—	—	15	2.50
咽頭結膜熱	31	0.57	2	0.14	3	0.27	—	—	7	1.00	1	0.25	1	0.50	17	2.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	0.24	5	0.36	5	0.45	—	—	1	0.14	—	—	1	0.50	1	0.17
感染性胃腸炎	237	4.39	64	4.57	45	4.09	47	4.70	19	2.71	13	3.25	9	4.50	40	6.67
水痘	19	0.35	3	0.21	5	0.45	1	0.10	6	0.86	—	—	—	—	4	0.67
手足口病	25	0.46	11	0.79	9	0.82	1	0.10	—	—	1	0.25	—	—	3	0.50
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
突発性発疹	25	0.46	7	0.50	6	0.55	5	0.50	3	0.43	1	0.25	—	—	3	0.50
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	39	0.72	13	0.93	14	1.27	6	0.60	4	0.57	2	0.50	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	13	0.24	2	0.14	5	0.45	3	0.30	2	0.29	—	—	—	—	1	0.17
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	6	0.50	1	0.20	2	0.50	1	1.00	2	2.00	—	—	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(— : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2014年 37週 (2014/09/08～2014/09/14)

2014年9月18日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1	0.01	—	—	—	—	1	0.07	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	31	0.57	2	0.14	3	0.27	—	—	7	1.00	1	0.25	1	0.50	17	2.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	0.24	5	0.36	5	0.45	—	—	1	0.14	—	—	1	0.50	1	0.17
感染性胃腸炎	237	4.39	64	4.57	45	4.09	47	4.70	19	2.71	13	3.25	9	4.50	40	6.67
水痘	19	0.35	3	0.21	5	0.45	1	0.10	6	0.86	—	—	—	—	4	0.67
手足口病	25	0.46	11	0.79	9	0.82	1	0.10	—	—	1	0.25	—	—	3	0.50
伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	39	0.72	13	0.93	14	1.27	6	0.60	4	0.57	2	0.50	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	13	0.24	2	0.14	5	0.45	3	0.30	2	0.29	—	—	—	—	1	0.17
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	6	0.50	1	0.20	2	0.50	1	1.00	2	2.00	—	—	—	—	—	—

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2014年 第37週 2014/09/08～2014/09/14)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計		-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	26	5	7	12	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－
咽頭結膜熱	31	－	4	4	5	6	2	5	－	－	2	－	1	－	2	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	－	－	－	－	2	－	3	2	1	2	－	3	－	－	－
感染性胃腸炎	237	3	25	46	24	23	16	21	9	12	6	3	16	6	27	27
水痘	19	－	－	3	3	2	1	5	3	－	1	－	－	1	－	－
手足口病	25	－	－	9	3	3	2	2	1	3	1	－	－	－	1	1
伝染性紅斑	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
突発性発疹	25	－	14	9	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
百日咳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	39	－	5	11	2	7	5	4	4	1	－	－	－	－	－	－
流行性耳下腺炎	13	－	－	－	－	1	1	2	4	1	2	1	1	－	－	－

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1	1

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

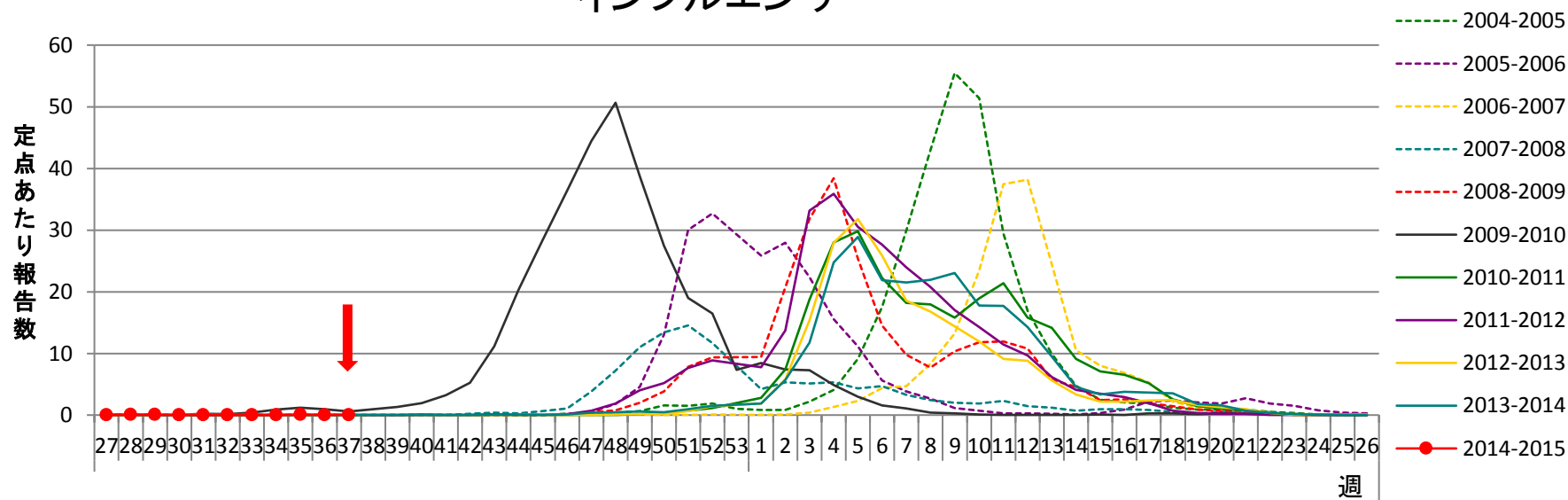
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

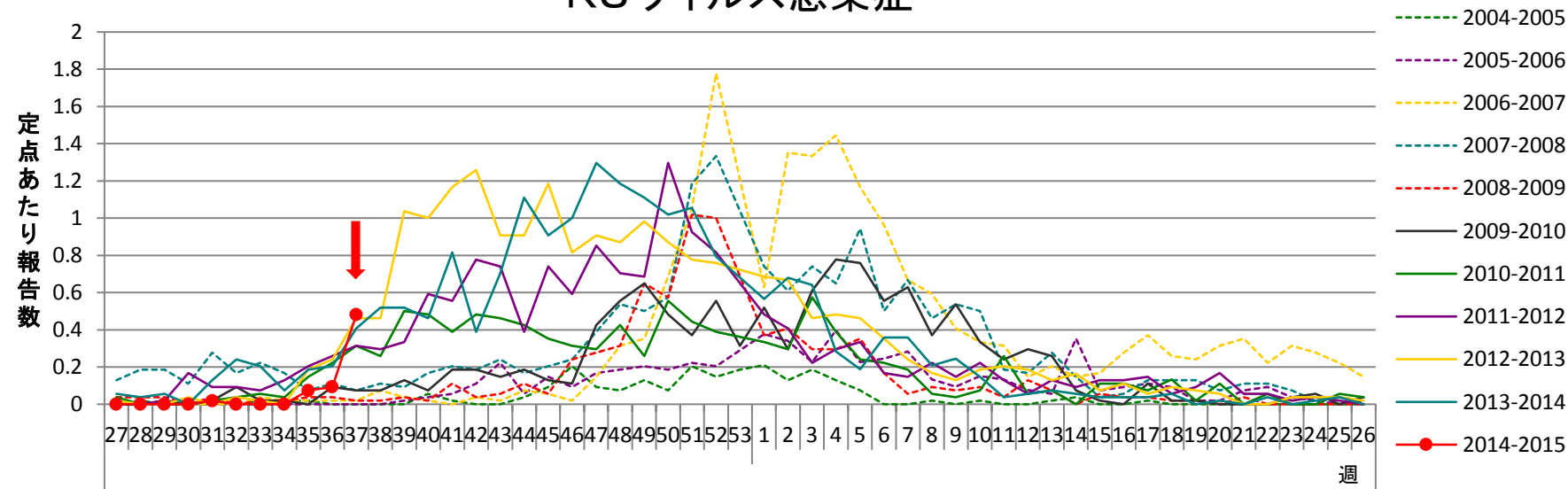
2014 年 37 週

分類	疾病名	2014		2013	疾病名	2014		2013	疾病名	2014		2013
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ベスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	4	256	358	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	60	87
	腸チフス	-	-	1	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	1	-	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	6	5
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサナル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	2	2	腎症候性出血熱	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-
	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	1	-	デング熱	-	1	-
	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-
	日本脳炎	-	-	1	日本紅斑熱	-	3	2	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-
	ボツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	1	野兔病	-	-	-
	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-
	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	-	22	24	レプトスピラ症	-	-	2
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	7	20	ウイルス性肝炎*3	-	6	13	急性脳炎*4	-	8
クリプトスポリジウム症		-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	4	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	3	3
後天性免疫不全症候群		1	16	18	ジアルジア症	-	-	1	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	-	1
侵襲性髄膜炎菌感染症		-	-	-	侵襲性肺炎球菌感染症	-	18	20	先天性風しん症候群	-	-	-
梅毒		-	13	8	破傷風	-	-	4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	-	-	-
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		-	1	1	風しん	-	2	76	麻しん	-	6	3

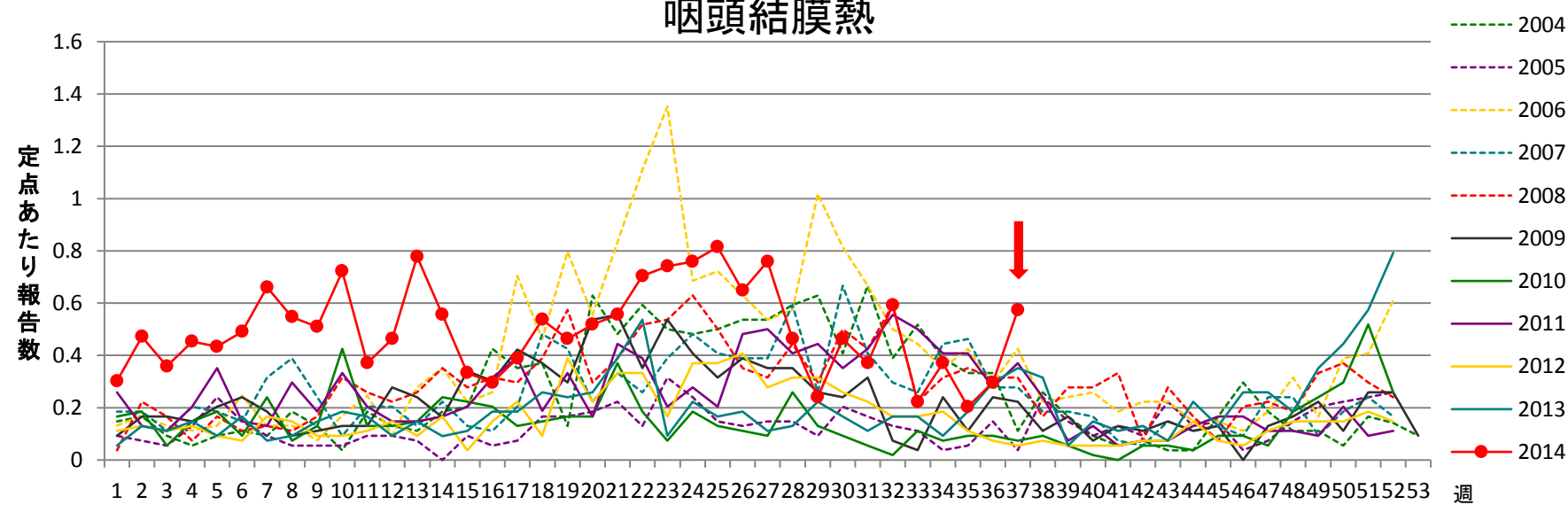
インフルエンザ



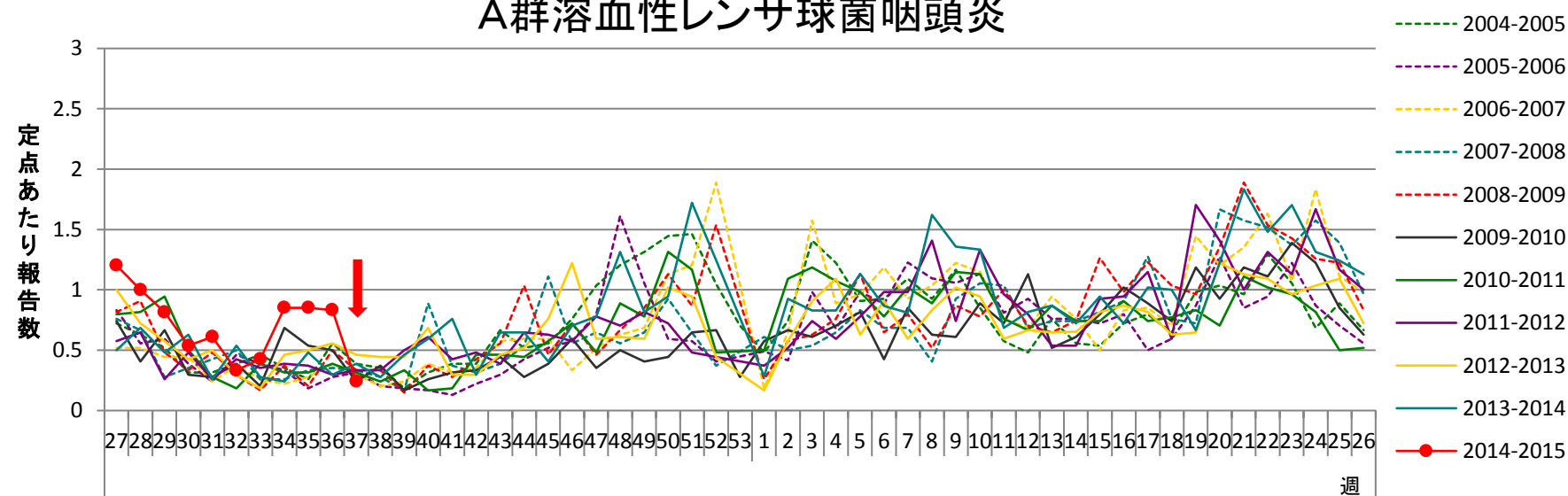
RSウイルス感染症



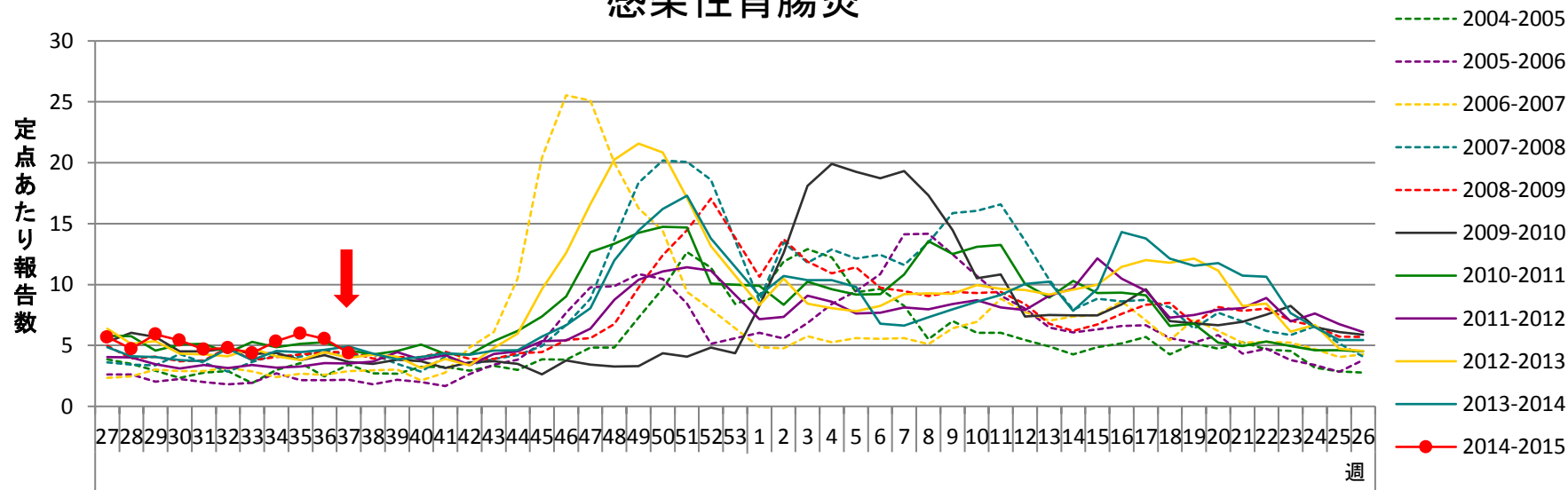
咽頭結膜熱



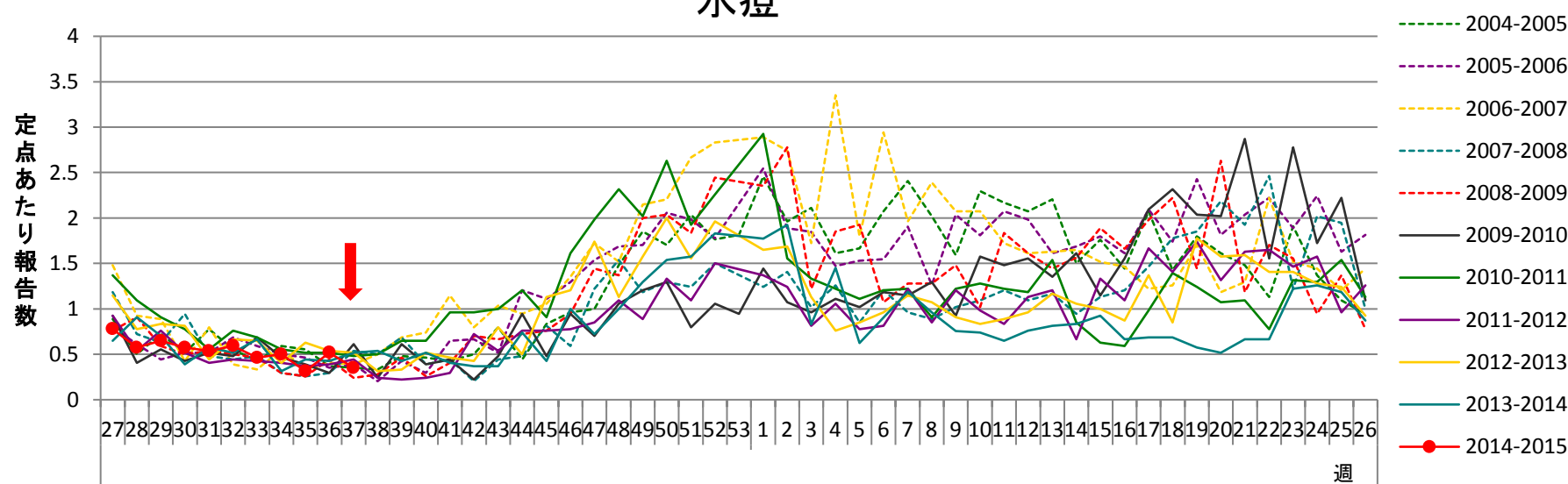
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



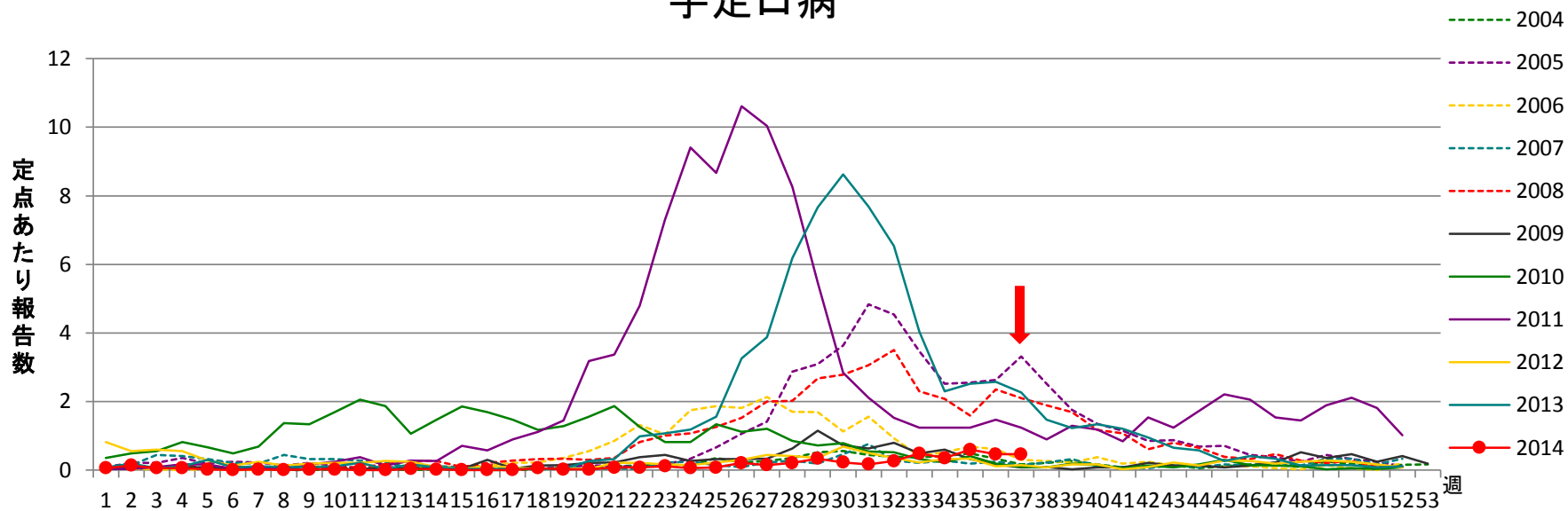
感染性胃腸炎



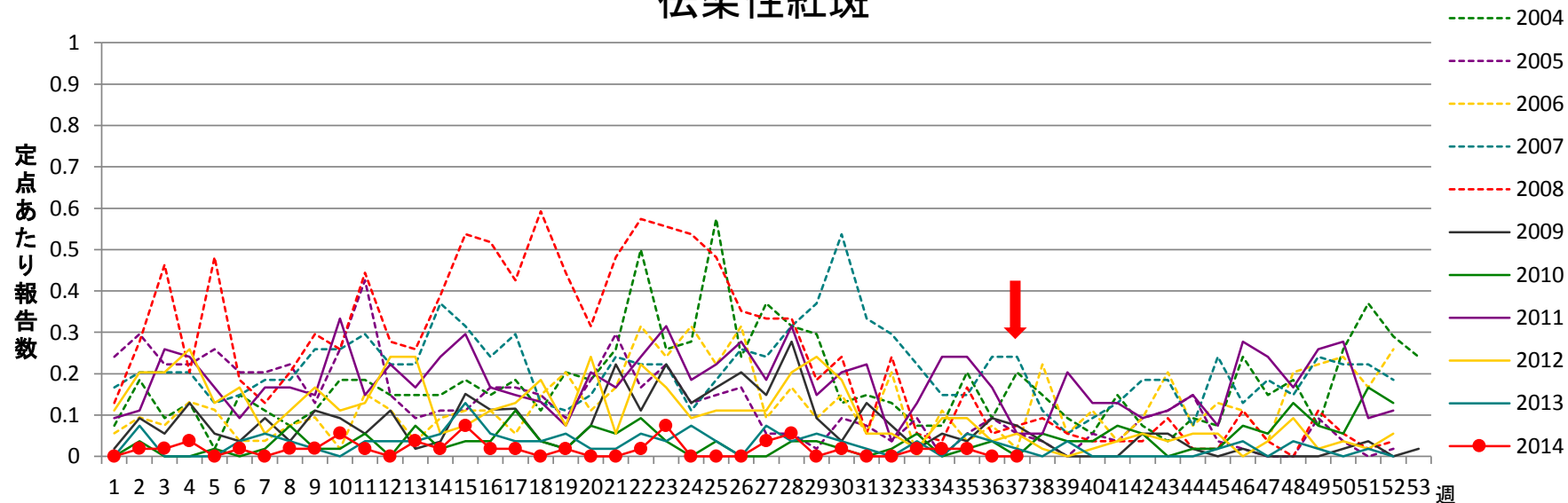
水痘



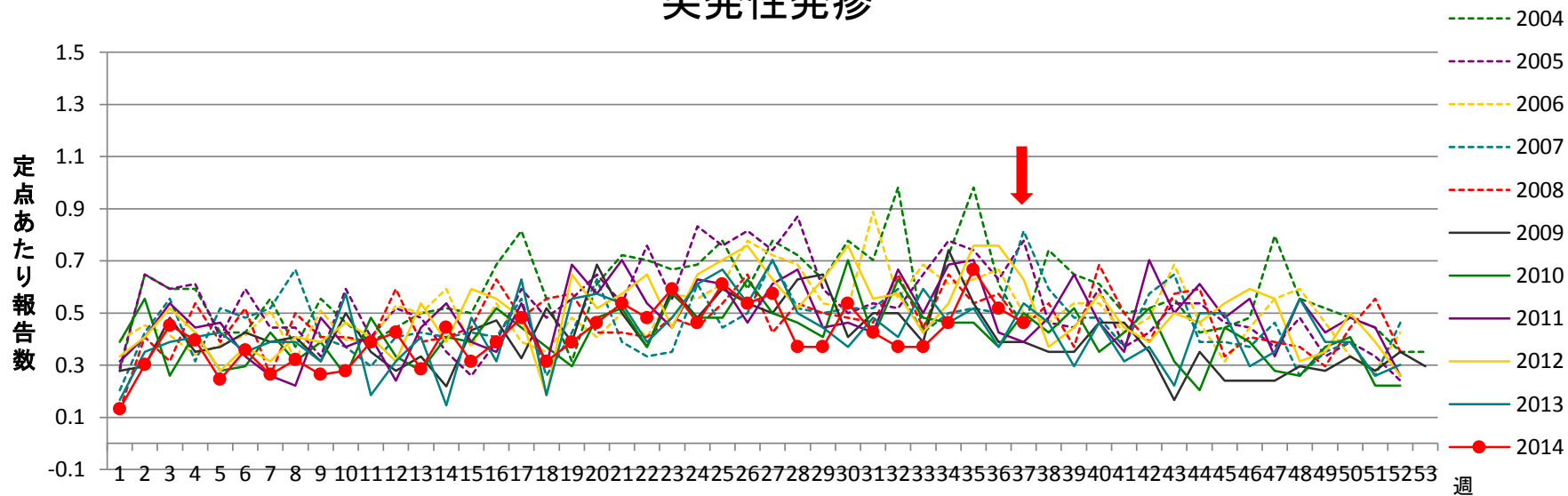
手足口病



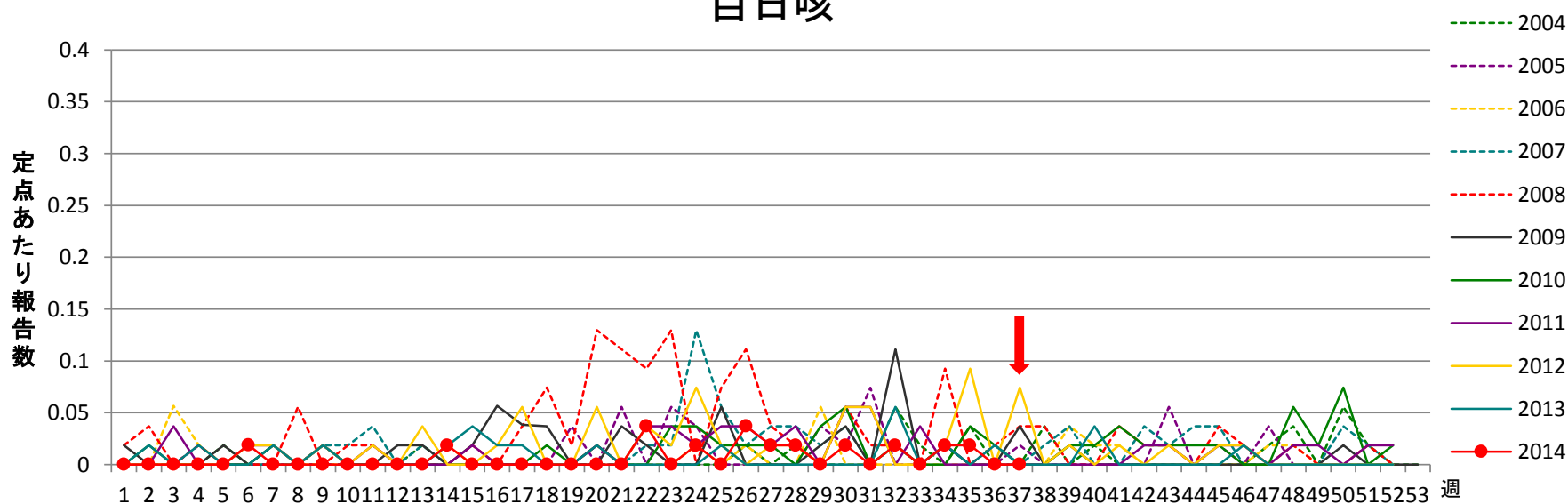
伝染性紅斑



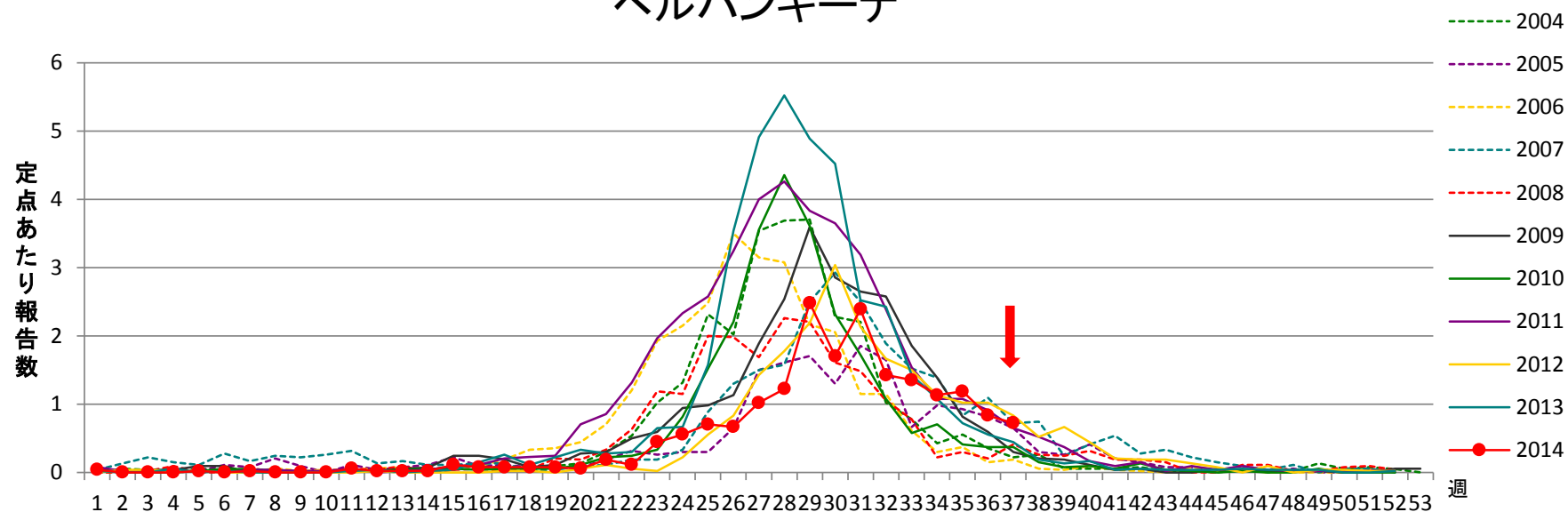
突発性発疹



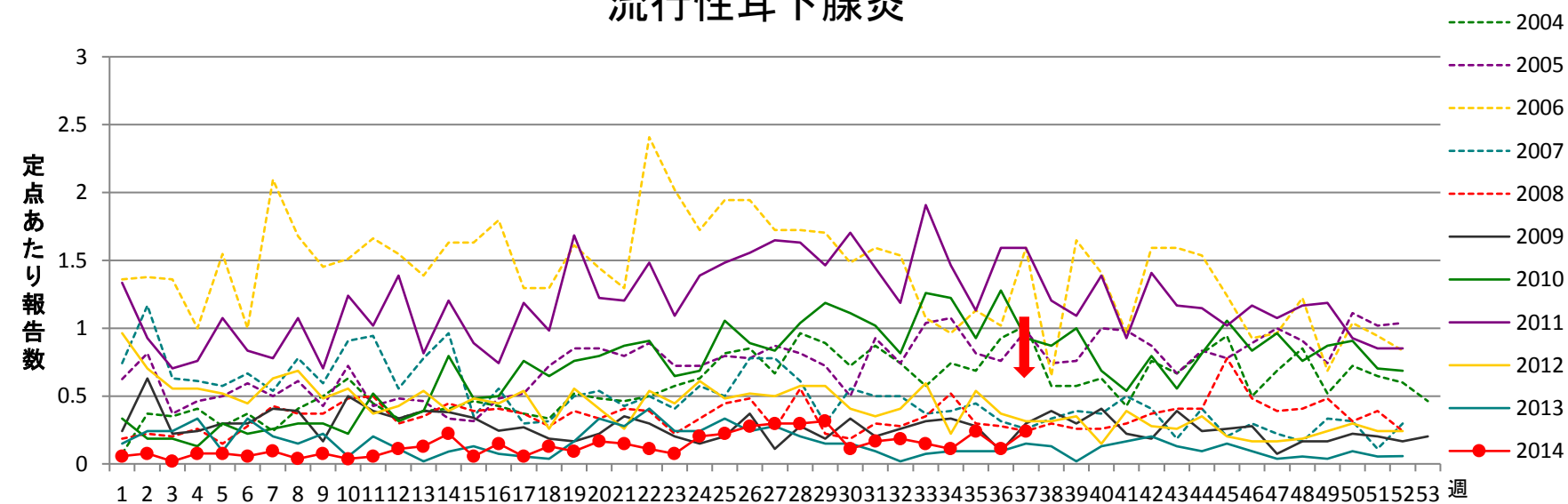
百日咳



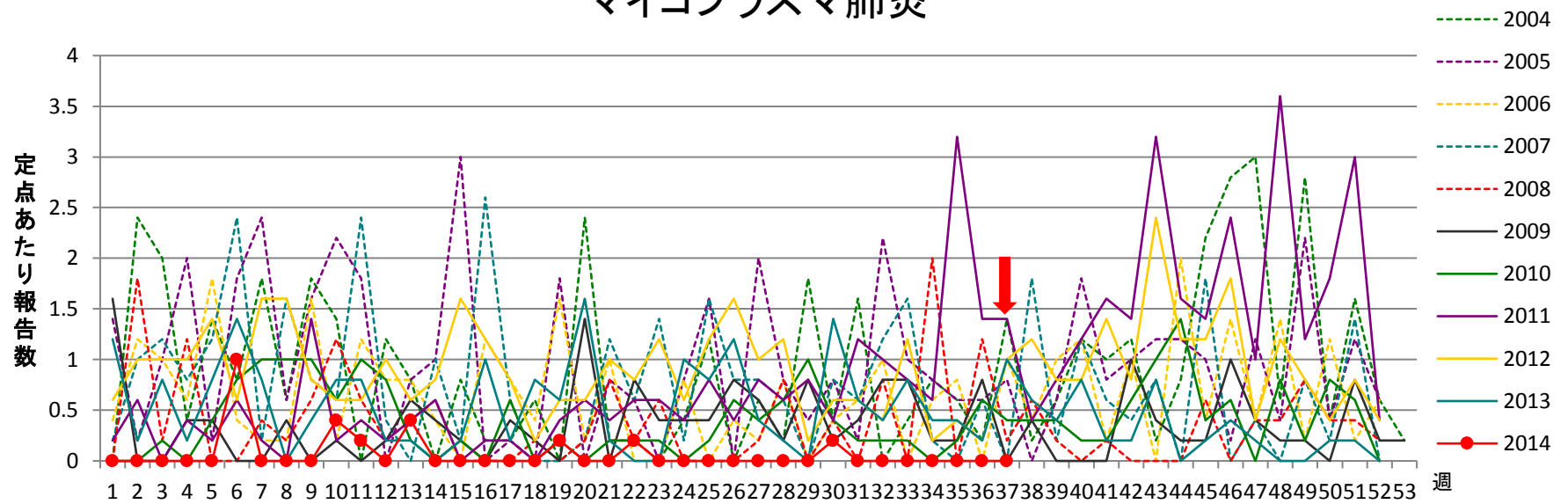
ヘルパンギーナ



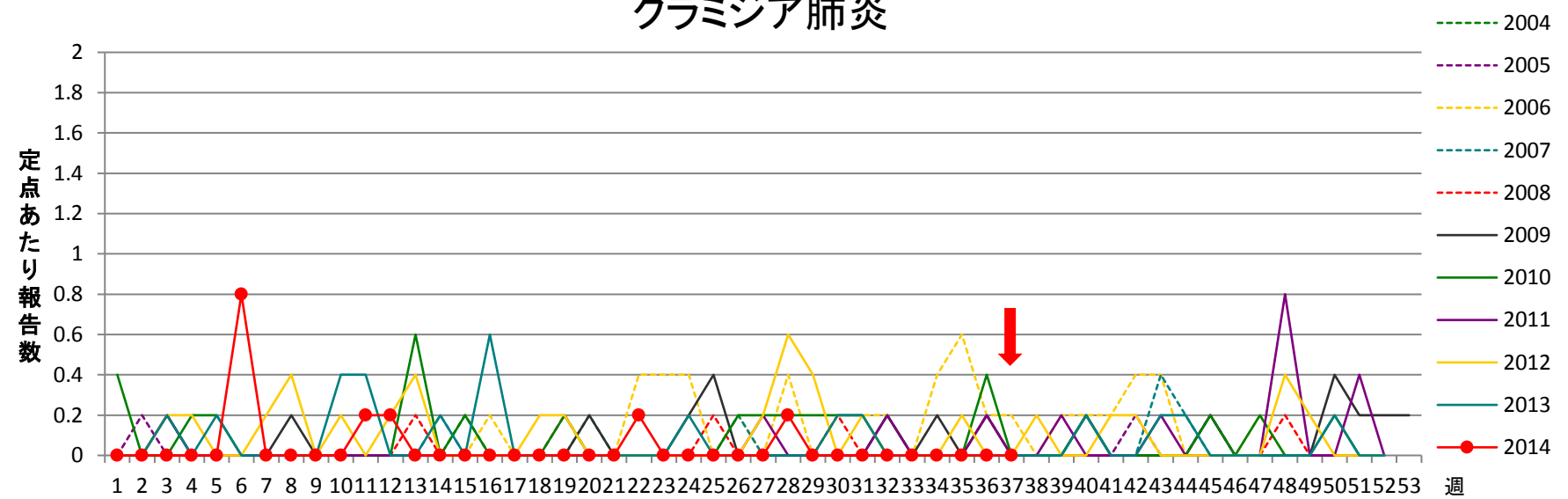
流行性耳下腺炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

